

第 11 回日本災害医療ロジスティクス研修実施要領（案）

1. 目的

大規模災害時、被災県に支援に入る医療チームとして円滑な情報のやりとりや十分な生活環境の確保といったロジスティクス能力の向上を目的として本研修を行う。

2. 獲得目標

- 1) ロジスティクスの基礎を習得する
 - ・派遣目的地までの円滑な到達
 - ・衣食住の確保
- 2) 各拠点での本部立ち上げと本部内におけるロジスティクスの役割を理解する
 - ・各拠点でのカウンターパートとのコミュニケーション
 - ・情報伝達手段の構築および通信訓練
 - ・情報の集約と活用
- 3) 多組織間の連携について理解する
 - ・各組織特有の手法などについて理解
 - ・多組織間の協働方法の検討
- 4) 安全管理
 - ・リスクへの対策
 - ・危険情報の収集
 - ・連絡体制の確保

3. 開催日

令和 7 年 9 月 28 日（日）

令和 7 年 9 月 29 日（月）

令和 7 年 9 月 30 日（火）

4. 開催場所

主会場

岩手医科大学 災害時地域医療支援教育センター（矢巾キャンパス）

その他

岩手県沿岸部

5. 受講対象者

職種は問わない

6. 申し込み方法

岩手医科大学災害時地域医療支援教育センターのホームページから受講申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールにてお申込みください。

<https://www.iwate-med.ac.jp/saigai/training/logistics/>

7. 申し込み締め切り

令和 7 年 8 月 1 日（金）17 時

受講決定については締め切り後 1～2 週間を目途に運営事務局よりお知らせする予定です。

8. 受講定員

30 名（内 7 名程度を岩手県在住の方対象の岩手県枠とします）

9. 参加費

研修受講料： 20,000 円（消費税込）

※岩手県枠の方は受講料を全額免除とします。

※会場までの交通費、宿泊費、食事代が別途必要です。

※ 9 月 28 日の昼食のみ、希望者に対し 1,000 円で斡旋します。

10. 研修日程

別紙プログラム参照(研修 1-2 週間前より、事前のオンライン研修を実施します)

11. 宿泊

宿泊は会場周辺での確保をお勧めします（各自で確保願います）。9 月 29 日（月）の宿泊に関しては、実践研修先での宿泊を主催者側で確保しています。

12. 運営委員

統括責任者 岩手医科大学

眞瀬 智彦

委員 国立健康危機管理研究機構健康危機・運営局 D M A T 事務局

近藤 久禎

兵庫県災害医療センター

中山 伸一

山形県医療福祉部

森野 一真

国立健康危機管理研究機構健康危機・運営局 D M A T 事務局

若井 聡智

仙台市立病院

山内 聡

高桑 大介

社会福祉法人東京有隣会有隣病院

楠 孝司

青年海外協力協会

大友 仁

国立健康危機管理研究機構健康危機・運営局 D M A T 事務局

市原 正行

神戸学院大学

中田 敬司

兵庫県災害医療センター

中田 正明

国立健康危機管理研究機構健康危機・運営局 D M A T 事務局

鈴木 教久

山形県立こども医療療育センター

萬年 琢也

愛知医科大学

小澤 和弘

日本赤十字社本社

土居 正明

日本赤十字社岩手県支部

種田 伸吾

埼玉県済生会加須病院

奥野 史寛

岩手医科大学

藤原 弘之

岩手医科大学

富永 綾

岩手医科大学

金子 拓

（敬称略）

13. 主催

岩手医科大学 災害時地域医療支援教育センター

14. 共催

国立健康危機管理研究機構健康危機・運営局 D M A T 事務局

15. 後援（申請予定）

内閣府

総務省

外務省

文部科学省

厚生労働省

岩手県

日本医師会

岩手県医師会

岩手県教育委員会

日本赤十字社

社会福祉法人恩賜財団済生会

日本災害医学会

日本災害医学会災害医療ロジスティクス検討委員会

日本災害医療ロジスティック協会

災害医療 ACT 研究所

公益財団法人国際医療技術財団（JIMTEF）